

八戸市長公約 9割超「達成」

重点施策巡り市民委

八戸市の政策を審議する市総合計画等推進市民委員会（委員長・堤静子八戸学院大学特任教授）は27日、熊谷雄一市長の1期約4年の政策公約達成状況をまとめた評価書を熊谷市長に提出した。重点施策の9割超を「達成できている」とし「対話を重視し、市政への理解と共感を積み重ねてき

た成果が着実に表れている」と総括した。



熊谷市長④に評価書を提出する堤委員長＝27日、八戸市庁

市民委は、市長就任の2021年11月から今年5月末までの取り組み状況を審議した。44の重点施策と、▽八戸圏域の特性を活かした経済活性化▽「子どもファースト事業」の展開▽暮らしやすく人に優しいまちづくりといった九つの政策公約を評価した。

重点施策は「達成」が41（昨年36）、「一部達成」が3（同8）で、「達成できていない」はなかった。九つの政策では▽持続可能

なより良い社会の実現▽多様な市民力を地域の活力に――が一部達成とした。

27日、市庁で熊谷市長に評価書を手渡した堤委員長は対話と共感を軸にした施策展開を評価した上で「きめ細やかで分かりやすく、市民全体に理解が得られるような発信をすればより実効性が高まる」と期待。熊谷市長は「残りの任期中に取り組みを進めていきたい」と答えた。

（下館悠々）